

あゆみ年表 ～ 令和元年 ～

元. 6. 20 稚内水産試験場訪問 ～大人の社会見学～

他機関との交流と相互理解を深めるため当部職員8名が、地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 稚内水産試験場の施設を見学した。

当部部長と水産試験場の場長は、地元企業や行政機関の長が会員となり相互に情報交換を行う「三水会」の会員であり、日頃から互いに「海」をフィールドとする職場として理解を深めている。

訪問は、水産試験場の業務を知るとともに、北海道北 部海域に生息する「海の生き物」を知る貴重な機会となった。



元. 7. 20 護衛艦入港に併せ三機関合同説明会

7月20日、21日の二日間にわたり、稚内港での海上自衛隊護衛艦「ちょうかい」の一般公開に併せ、自衛隊、警察との三機関合同説明会を開催した。

稚内港への護衛艦の入港は珍しく、抜群と集客力となり、「ちょうかい」前に設置された当部ブースでの、制服の試着コーナー、ライフゼム装着体験には多数の市民が足を止め、当庁業務のPRや学生募集に、より効果的な活動となった。



元. 8. 6 夏休み自由研究サポート

第1弾 「夏の特別授業」を開講

稚内市立声問小学校で行われたサマースクールで、8月6日に小学校児童12名に対し、特別授業を行った。

授業では、3D海図の説明、救命胴衣の着用体験、ロープワークの実習とそれを応用したストラップ作成に、参加した児童は興味深々で最後まで真剣に取り組んでいた。



第2弾 「稚内海上保安部たんけん」を開催

海上保安業務の周知活動の一環として、夏休み期間中に小学生を対象とした保安部の業務の説明や施設の見学を実施した。

この企画は「稚内海上保安部たんけん」と銘打たれ、小学生に対し夏休みの自由研究の題材を提供するとともに、その保護者に対して当庁の認知度向上を図るため、8月8日、13日、15日の延べ3日間（各日5組限定：事前応募制）にわたり巡視船や灯台の施設見学等を行った。



元. 9. 29 べろうま海保飯 HPにて配信開始

当部所属巡視船で乗組員に人気の高いメニューのレシピを紹介する、HP特設ページ「べろうま海保飯」を開設した。

べろうまの「べろ」とは、北海道弁の「なまら」と同じく「とても」という意味合いを持つ稚内の方言で、第一弾は「巡視船りしり シーフードカレー」地元名産の「ホタテとタコ」を使用した主計士得意の絶品を紹介。



元. 10. 19 遠別町沖合に木造船が漂着

遠別町沖合のホタテ養殖施設に漂着した木造船を確認した。

特徴 木造、黒色、長さ約12m、船首側に「539-67379」の表示があった。



元. 10. 30 「とうだいじゅぎょう」開講

「灯台記念日」を記念する行事として、稚内市地域交流センターにおいて、市内幼稚園児を招き「とうだいじゅぎょう」を開講した。授業では、灯台を知ってもらうため、職員がこの日のために作成したデジタル紙芝居を披露。うーみんなも園児と仲良く授業に加わり、楽しく、にぎやかな時間となった。



元. 1 1. 9 宗谷岬南東沖オホーツク海でモンゴル船籍貨物船が航行不能

稚内港を出港しロシアコルサコフ向け航行中のモンゴル船籍貨物船H号（総トン数74トン 8名乗組み）が、宗谷岬南東約20km沖合で機関故障のため航行不能になったとの連絡が、11月9日午後1時ころ船舶代理店からあり、巡視船もとうらが現場に向かった。該船はその後、船舶代理店手配のタグボートと現場で会合、午後5時過ぎに曳航開始、巡視船もとうらの伴走警戒のもと当日の午後9時25分ころに、稚内港末広ふ頭に着岸した。